2026 年度　第 1 回　運営推進会議録
（認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所会議）

日時：2026 年 9 月 26 日(土)　10 時半～11 時半
場所：中心荘第二老人ホーム　3 階　デイサービス室

出席者者（敬称略）：北〇一〇（ご利用者様）・北〇〇（ご家族）
瀧〇美〇子（海老名北地域包括支援センター）
鈴〇紀〇（海老名市社会福祉協議会）
施設側　：三浦所長、菊田通所介護課長、松下生活相談員（記録）

三浦所長：「今回の会議から、北〇一〇様とそのご子息の正〇様が参加されます。職員としては生活相談員の宮本に代わり、えびな南高齢者施設から異動になった松下が参加します」

（1）1．活動状況の報告ついて
　菊田課長から資料に沿って説明を行う。
社協：鈴〇「今はデイサービスの新しい受け入れをしているのか？」
→中心荘デイサービスは定員 12 名。登録人数が多く、現在空き枠が少ない状態。タイミングが合えば新規は受け入れていると回答。

2.　職員配置について
菊田課長から説明。→質問なし

3.　活動報告について
北〇正〇「週に 3 回デイサービスに行っているのだけど、本人に（今日何をして過ごしたのかを）尋ねても「わからない」と答えるので（よく実情がわからない）…。どういうことを普段しているのかな…とは思っている」
菊田…午前中は脳トレや、体操などをしている。どのレクリエーションにも参加してもらっている。
包括：瀧〇「他のデイサービスでは、休みがちの方がいると、利用（登録）を婉曲に（施設から）断られる場合もあるが…（中心荘ではどうか）」
松下…人によっては当日お誘いしても来ない方は、家族と CM の了承を得たうえで単発利用のお誘いをし、別の曜日でも来てもらうようにしている。
菊田…（出席したらスタンプを押す）体操カードを使って、明日も来てもらえるようにお誘いしている。
三浦…本人が中心荘デイサービスに来たいと思ってもらえるように工夫している。認知症特化型のデイサービスなので、他の（一般型）デイサービスよりも柔

軟性を持って対応していきたいと思っている。

（２）評価・ご意見等
社協：鈴〇「ボランティアについては…（中心荘の受け入れ状況はどうか）」
三浦…海老名市社会福祉協議会のお裾分けクラブで来ているボランティアの方もいる。
包括：瀧〇「認知症サポーターもいるのでそちらに協力を仰ぐこともできる」
三浦…デイサービスに来た瞬間、帰りたい気持ちになってしまう方もいるので、対話してくれるだけでも助かる。職員も個別で対応できればいいのだが、（他の利用者の方もいるので）それがなかなか難しい。利用者対応だけでなく、掃除といった間接業務でもありがたい。

・認知症カフェの計画について【認知症カフェ計画書（案）】に基づいて菊田課長から説明。
包括：瀧〇「客寄せの催し物が無いと人が集まらない。えびな北包括とえびな南包括も人集めに苦労している。『あそこに行くと楽しいらしいわよ』というロコミが大事。宮前区の土橋カフェなどが人気である」
社協：鈴〇「中心荘は桜の時期の素晴らしいロケーションがあるので、その時期の認知症カフェとか…一緒に作っていければ嬉しい。中心荘は認知症デイサービスだけどカフェをやっていなくて…安心できる場所を作っていければと思います」
北〇正〇「認知症カフェの目的とはなんでしょう？」
→「認知症の当事者と家族との交流がメインで、（困りごとを）共有して安心してもらう。病気になると家族も不安になってしまうので、集まってもらうことで安心してもらう」と回答。
北〇正〇「なんか本人と（家族が一緒に）行くのは違うのかなって（思っている）。認知症の人は参加しづらいのではないか。介護している側だけが（困りごとを）共有するのはいいのかな…。本人と一緒だったら（自分は認知症カフェに）行かないかな。誰に相談していいのかわからない」
包括：瀧〇「家族は家族で話せるように、本人たちは本人たちでお喋りする場を作れれば良いと思っている」
北〇正〇「実際の当事者とどうやって向き合えばいいのかな…というところを（誰に）相談できるのかな、と」

（3）次回開催について
　→次回の会議は３月６日　10 時半開催予定。